



気持ち

ノートは、自分のために書いて書く

1年生

ノートは、誰のために書くの？

先生やおうちの人にほめられたいから、ノートをきれいに書いている人がいると思います。また、本当は面倒くさいけど、先生やおうちの人から「きれいに書きなさい」と注意されたくないから、ていねいに書いている人もいます。

どちらの場合も、がんばって書いているし、間違っではいけません。でも、ちよつと考えてみましょう。

ノートは、誰のために書いているのか。先生やおうちの人のためではありませんよね。

ノートは、キミのために書いています。勉強したことがきちんと理解できるように、いつか見直した

ときにわかりやすいように、キミがもついろいろなことを知り、勉強が楽しくなるために書いています。

ノートは、何のために書くの？

また、キミがノートを書く目的は何ですか？ テストでいい点数をとりたい、見直したときに楽しいノートにしたい、などノートを書く目的は人それぞれに違うはずですよ。

26〜27ページの「ノートを書く目的を考える3つの質問」を使い、ノートを書く目的とどんなノートを書きたいかを考えてみてください。

自分のために書いていくという気持ちになつて、ノートを書く目的をはつきりさせること。これがきれいなノートを書くための第一歩です。



ノートを書く目的を一緒に考えてあげる

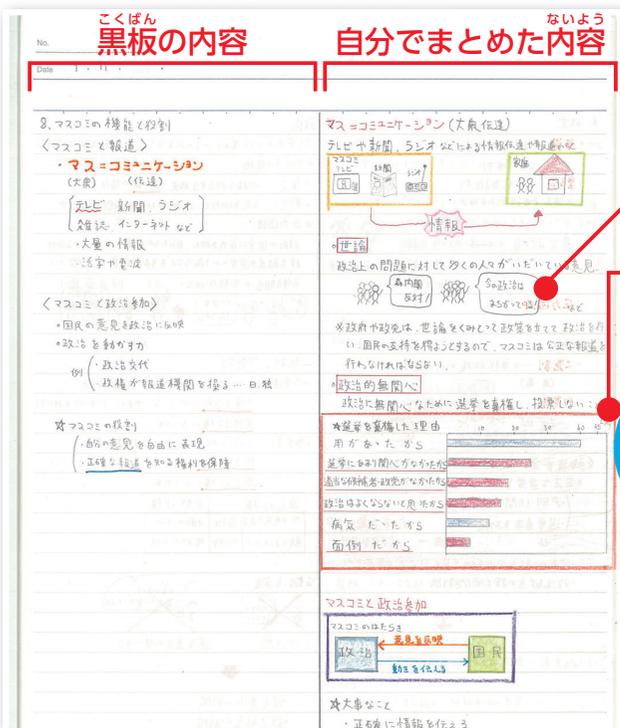
ノートを書くためにいちばん大切なことは、書かされているという受け身の気持ちではなく、自分のために書いていくという主体性を持つことです。そうした意識づくりができないと、ノートをていねいに書いたり、自分のための勉強に役立つノートづくりが難しくなります。それと同時に、ノートを何のために書いているのか、目的を持つことが大切です。その目的によって、ノートの書き方は変わります。

授業で書くノートでも、授業をその場で理解するためのなのか、テスト前に見直すためのなのかで、できあがるノートは違ってきます。

小学生の間は、自ら目的を持ってノートを書くことは難しいことです。ぜひ一緒に考えてあげてください。

先生に提出するために書いたノート

公民(中学生の社会)の授業



先生が話してくれた内容をイラストにしています。

グラフがカラフルです。

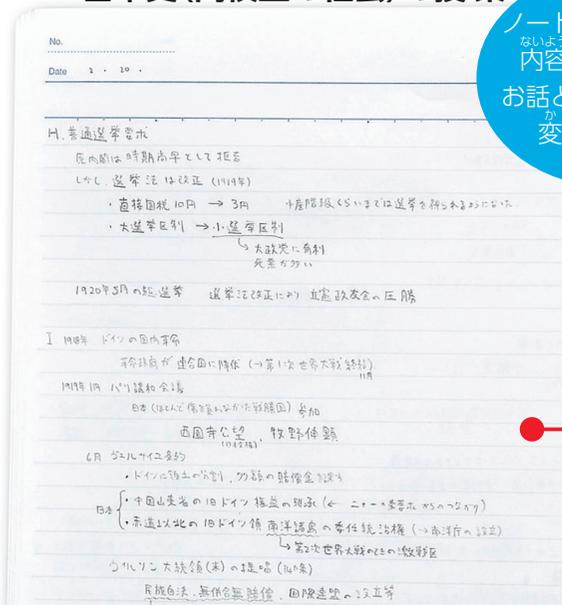
先生に提出をして「授業を聞いて、理解していますよ」と伝えるためのノート



同じ人でも目的が変わるとノートの書き方も変わります

授業を理解するために書いたノート

日本史(高校生の社会)の授業



ノートの左に黒板の内容、右に先生のお話という書き方は変わらないね



授業中に、黒板の内容や先生のお話などをたくさん書くため、色ペンに持ちかえる時間がないので、えんぴつだけで書いています。